



[観客数] 2,500 [開始時間] 14:00 [終了時間] 15:50 [試合時間] 1:50 [主審] 大塚 達也 [副審] 浅井 唯由

サントリーサンバーズ



監督：ジルソ ヘルム
 コーチ：栗原 圭介
 通算ポイント：13
 通算：3勝1敗

3 ポイント 3	25	第1セット 【0:26】	21	1 ポイント 0
	25	第2セット 【0:26】	20	
	22	第3セット 【0:26】	25	
	25	第4セット 【0:23】	13	
		第5セット 【】		

パナソニックパンサーズ



監督：川村 慎二
 コーチ：真保 綱一郎
 通算ポイント：3
 通算：0勝3敗

【】内はセット時間

()内は交代選手

監督コメント	
<p>ハードルの高い相手であったがサントリーはすばらしい姿勢で戦ってくれて、非常に良いバレーボールを見せてくれた。 今後ともサントリーらしい戦いぶりで、どの相手に対しても頑張っていきたい。いつも、「夢は実現するもの」を教えてくれるファンの皆様、本日もありがとうございます。</p>	

25	山村 ()	栗山 ()	第1セット	山添 (渡辺)	福澤 ()	21
	阿部 (塩田)	エバンドロ ()		清水 ()	深津 (池田)	
	金子 ()	鈴木 (米山)		チアーゴ ()	白澤 (ブロックソム)	
鶴田		リベロ		永野		
25	山村 ()	栗山 ()	第2セット	福澤 ()	深津 ()	20
	阿部 ()	エバンドロ ()		山添 (恸田)	白澤 ()	
	金子 ()	鈴木 (柳田)		清水 ()	チアーゴ (渡辺)	
鶴田		リベロ		永野		
22	山村 ()	栗山 ()	第3セット	山添 ()	福澤 ()	25
	阿部 (椿山)	エバンドロ (橋本)		清水 (池田)	深津 (大竹)	
	金子 (米山)	鈴木 ()		チアーゴ (渡辺)	白澤 ()	
鶴田		リベロ		永野		
25	山村 (米山)	栗山 ()	第4セット	山添 ()	福澤 (谷村)	13
	阿部 (橋本)	エバンドロ ()		池田 ()	大竹 ()	
	金子 (柳田)	鈴木 ()		渡辺 (チアーゴ)	白澤 (ブロックソム)	
鶴田		リベロ		永野		
	()	()	第5セット	()	()	
	()	()		()	()	
	()	()		()	()	
		リベロ				

監督コメント	
<p>第1セットが全てだった。終始リードしながらの逆転。 自分たちのミスからリズムが悪くなる悪い形が出てしまった。 明日も試合があるので、しっかりと戦っていきたい。本日もたくさんのご声援ありがとうございました。</p>	

要約レポート

レギュラーラウンド後半からファイナル6へと、徐々にチーム力が上向いてきたサントリーサンバーズと、よもやの連敗から巻き返しを図るパナソニックパンサーズとの一戦であった。
 第1・第2セットは、序盤パナソニックがリードするも、中盤にサントリーが追いつき、逆転でセットを連取。
 第3セットは逆にサントリーが序盤からリードしていたが、パナソニックも福澤のスパイクポイント、サーブなどで意地を見せ、清水に代わって入った池田も奮闘しこのセットを奪い返す。
 第4セット、パナソニックはスタートからセッターを深津から大竹、オポジットを清水から池田、ウィングスパイカーのチアーゴを渡辺に代え応戦するが、試合の流れを変えることができずなかった。それに対して、サントリーは相手を崩すサーブと効果的なブロックと、要所でエバンドロにボールを集め、絞らせない阿部のトスワークも冴え、サントリーが一気に流れを掴み、セットカウント3-1で勝利し大事な試合を確実にものにした。

*本票の著作権は一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。
 *Vリーグの公式データは公益財団法人日本バレーボール協会のJVISにより作成されています。



[観客数] 2,800 [開始時間] 16:35 [終了時間] 18:47 [試合時間] 2:12 [主審] 田中 昭彦 [副審] 澤 達大

ジェイテクトSTINGS



監督：寺嶋 大樹
 コーチ：豊田 昇平
 通算ポイント：3
 通算：1勝2敗

2	25	第1セット 【0:25】	18	3
	22	第2セット 【0:27】	25	
	17	第3セット 【0:24】	25	
	25	第4セット 【0:27】	21	
	11	第5セット 【0:17】	15	
ポイント ₁				ポイント ₂

豊田合成トレフェルサ



監督：クリスティヤソフ
 アンデ イツシ
 コーチ：藤田 和広
 通算ポイント：6
 通算：1勝2敗

【】内はセット時間

()内は交代選手

監督コメント	
<p>第1セット、ブロック&レシーブが機能し有利に試合を進めることが出来たが、第2セット以降はサーブミスが続き、サーブが消極的になってしまった。 相手のオフェンスに対して受け身になり、第2、第3セットを奪われたが、第4セットはブロックで相手にプレッシャーを与え、粘り強く戦えたことでこのセットを取る事ができたが、最後は自チームの失点により苦しい敗戦となった。 本日はたくさんのご声援ありがとうございました。来週も引き続きご声援よろしくお祈りします。</p>	

25	金丸 ()	浅野 (松原)	第1セット	近 ()	白岩 (山田)	18
	高橋(慎) (松崎)	エルナンデス ()		イゴール ()	内山 (前田)	
	高橋(和) ()	辰巳 ()		高松 (岡本)	傳田 (幡司)	
興梠		リベロ		古賀(幸)		
22	高橋(慎) (松崎)	金丸 (松原)	第2セット	近 ()	白岩 (岡本)	25
	高橋(和) ()	浅野 ()		イゴール ()	内山 (井上)	
	辰巳 ()	エルナンデス (若山)		高松 ()	傳田 ()	
興梠		リベロ		古賀(幸)		
17	金丸 ()	浅野 ()	第3セット	イゴール ()	近 ()	25
	高橋(慎) ()	若山 (エルナンデス)		高松 ()	白岩 ()	
	高橋(和) (角田)	辰巳 (松崎)		傳田 ()	内山 ()	
興梠		リベロ		古賀(幸)		
25	金丸 ()	浅野 ()	第4セット	近 ()	白岩 (山近)	21
	高橋(慎) (古田)	エルナンデス ()		イゴール ()	内山 (井上)	
	角田 (高橋(和))	松崎 (松原)		高松 ()	傳田 (岡本)	
興梠		リベロ		古賀(幸)		
11	金丸 ()	浅野 ()	第5セット	イゴール ()	近 ()	15
	高橋(慎) (古田)	エルナンデス ()		高松 ()	白岩 (山近)	
	高橋(和) ()	松崎 (松原)		傳田 (岡本)	内山 (井上)	
興梠		リベロ		古賀(幸)		

監督コメント	
<p>この試合に向け、良い準備をしてきたが、悪いスタートになってしまった。第2セット以降、よく持ちかえしてくれた。 第1セットは、我々のコンセプトを失い、個人のミスが多く出てしまった。その後は、徐々にいつものパフォーマンスに戻ったが、第4セットは、序盤の3、4点差をひっくり返すことができなかった。 本日も温かいご声援ありがとうございました。</p>	

要約レポート

ファイナル6前半戦は上位チームとの対戦が続き、厳しい試合を経験してきた豊田合成トレフェルサと、レギュラーラウンド6位ながら、初戦で勝利し、勢いに乗るジェイテクトSTINGSとの熱戦。

第1セット、サーブミスが目立つ豊田合成に比べ、ジェイテクトは、リベロ興梠を中心とした守備から浅野、高橋和の速い切り返しでリズムを掴みこのセットを先取。

第2、3セット、豊田合成はイゴールを中心に、傳田、近の速攻が効果的に決まり、終始自分たちのペースで試合を進め2セットを連取。

後がないジェイテクトは第4セット、エルナンデスにボールを集め、得点を量産。豊田合成はセッター内山が速攻を中心としたトス回しで的を絞らせず終盤まで一進一退の展開が続くが、粘り強い守備のジェイテクトがリズムを掴み、ファイナルセットへ。

第5セット、両チーム共エース同士の打ち合いとなったが、最後は豊田合成が押し切りファイナル6で初勝利をあげた。

※本票の著作権は一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。

※リーグの公式データは公益財団法人日本バレーボール協会のJVISにより作成されています。

■作成者 田辺 圭一



[観客数] 3,300 [開始時間] 13:00 [終了時間] 14:55 [試合時間] 1:55 [主審] 大塚 達也 [副審] 澤 達大

JTサンダーズ



監督：ウグイチ ウエ
セリ
コーチ：徳元 幸人
通算ポイント：13
通算：3勝0敗

パナソニックパンサーズ



監督：川村 慎二
コーチ：真保 綱一郎
通算ポイント：3
通算：0勝4敗

3 ポイント 3	25	第1セット 【0:29】	21	1 ポイント 0
	22	第2セット 【0:28】	25	
	25	第3セット 【0:23】	16	
	25	第4セット 【0:26】	18	
		第5セット 【】		

【】内はセット時間

()内は交代選手

監督コメント
<p>チームにとっても重要な一戦であったが、選手達は技術、メンタル、戦術面で勝つために必要な力を存分に発揮してくれたと思う。選手達には心から「おめでとう」と言いたい。両チーム共にレベルの高いバレーを展開していたと思う。松本のファンの皆様ご声援ありがとうございました。</p>

25	町野 ()	越川 ()	第1セット	福澤 ()	大竹 ()	21
	深津 ()	ヴィソット ()		山添 ()	白澤 (専田)	
	小澤 ()	寛本 ()		清水 ()	チアーゴ ()	
酒井		リベロ		永野		
22	深津 ()	町野 ()	第2セット	大竹 ()	白澤 (渡辺)	25
	小澤 ()	越川 ()		福澤 ()	チアーゴ ()	
	寛本 ()	ヴィソット ()		山添 (専田)	清水 ()	
酒井		リベロ		永野		
25	町野 ()	越川 ()	第3セット	大竹 ()	白澤 (専田)	16
	深津 ()	ヴィソット ()		福澤 ()	チアーゴ ()	
	小澤 ()	寛本 ()		山添 (ブロックソム)	清水 ()	
酒井		リベロ		永野		
25	深津 ()	町野 (安井)	第4セット	大竹 (池田)	白澤 ()	18
	小澤 ()	越川 ()		福澤 ()	渡辺 ()	
	寛本 (安永)	ヴィソット ()		山添 (専田)	清水 ()	
酒井		リベロ		永野		
	()	()	第5セット	()	()	
	()	()		()	()	
	()	()		()	()	
酒井		リベロ		永野		

監督コメント
<p>どのような事があっても最後まで戦い抜く!!この気持ちを忘れず、来週の最終戦に挑みたい。 本日もたくさんのご声援ありがとうございました。また来週で最後の試合になりますが、ご声援よろしく願いいたします。</p>

要約レポート

レギュラーラウンドから安定したチーム力を発揮し、粘り強く負けないバレーを展開するJTサンダーズと、昨シーズン覇者の意地を見せたいパナソニックパンサーズとの熱戦。

第1セット、序盤からJTが安定したプレーでリードを保つ。パナソニックも清水のバックアタック、福澤のバックアタックなどで応戦するが、JT越川が7得点を上げる活躍でセットを取る。

第2セット、出だしから1点を取り合うシーソーゲームであったが、清水の活躍で終盤パナソニックが抜け出す。JTもヴィソットのサーブで崩し追いつくが、パナソニックが逃げ切ってこのセットを奪い返す。

第3・第4セット、JTはヴィソットにボールを集めリズムを取り戻し、要所を越川が決める展開に。パナソニックも清水、福澤が奮闘するも流れは変わらず。2セットを連取し3-1でJTが勝利する。JTは3連勝でファイナル3以上進出を決定した。

*本票の著作権は一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。

*Vリーグの公式データは公益財団法人日本バレーボール協会のJVISにより作成されています。



[観客数] 2,820 [開始時間] 15:45 [終了時間] 17:46 [試合時間] 2:01 [主審] 田中 昭彦 [副審] 浅井 唯由

豊田合成トレフェルサ



監督：クリスティアソフ
アンデ イツシ
コーチ：藤田 和広
通算ポイント：9
通算：2勝2敗

3 ポイント 3	19	第1セット 【0:25】	25	1 ポイント 0
	25	第2セット 【0:29】	19	
	25	第3セット 【0:28】	20	
	25	第4セット 【0:30】	20	
		第5セット 【】		

堺ブレイザーズ



監督：印東 玄弥
コーチ：シゲル ファン ダ
イク フィストイ
通算ポイント：7
通算：2勝2敗

【】内はセット時間

()内は交代選手

監督コメント

この試合に向けて良い戦略を持って挑んだが、序盤はそれを遂行することができなかった。
ボールに対する積極性が欠けていた。
しかし、第2セット以降は本来の集中力が戻り、賢くハードにプレーしてくれた。
相手はファイナル6に入り、ここまで良い試合を続けていたが、今日は我々がそれを上回る展開に持ち込むことができた。
今日の勝利を誇りに思う。
本日も温かいご声援ありがとうございました。

19	傳田 ()	高松 (古賀(太))	第1セット	松本 (伊藤)	千々木 ()	25
	内山 (井上)	イゴール ()		ペビチ ()	佐川 ()	
	白岩 (山田)	近 ()		石島 ()	出未田 ()	
古賀(幸)		リベロ		井上		
25	内山 ()	傳田 ()	第2セット	千々木 ()	佐川 (今村)	19
	白岩 ()	高松 ()		松本 (伊藤)	出未田 ()	
	近 ()	イゴール ()		ペビチ ()	石島 ()	
古賀(幸)		リベロ		井上		
25	傳田 ()	高松 ()	第3セット	松本 ()	千々木 ()	20
	内山 ()	イゴール ()		ペビチ ()	佐川 (今村)	
	白岩 (井上)	近 ()		石島 (内藤)	出未田 ()	
古賀(幸)		リベロ		井上		
25	内山 ()	傳田 ()	第4セット	出未田 (内藤)	千々木 ()	20
	白岩 (井上)	高松 (岡本)		ペビチ ()	佐川 ()	
	近 ()	イゴール ()		石島 ()	松本 (伊藤)	
古賀(幸)		リベロ		井上		
	()	()	第5セット	()	()	
	()	()		()	()	
	()	()		()	()	
		リベロ				

監督コメント

1セット目は相手の自滅により先取したが、2セット目以降は戦術を忠実に遂行できず、相手を立ち直らせるきっかけを与えてしまった。
来週のファイナル6最終戦では、やるべき事をやり切って、後悔しないよう再びチーム力を高めて挑みたい。
ブレイザーズには、長野出身の選手が2名いることもあり、ホームのように大勢の方々から応援していただきました。
ありがとうございます。

要約レポート

昨日ファイナル6初勝利を上げ、ファイナル進出に可能性を残し意気上がる豊田合成トレフェルサと、ファイナル6に入りチームがまとまってきた堺ブレイザーズとの熱戦。

第1セット、ブレイザーズは、サーブで崩し、3枚ブロックで連続得点を重ね第1セットを先取し勢いに乗る。
しかし、第2・3セット、豊田合成は、イゴールのスパイク、近の速攻でブレイザーズの勢いを止め、中盤に追いつき逆転。終盤ブレイザーズは、セッターを今村に代え流れを変えようとするが、止めることが出来ずに豊田合成が2セットを連取。
第4セット、後がなくなったブレイザーズは、序盤からペビチにボールを集めるが、豊田合成は、リベロ古賀幸を中心にワンタッチボールを必死に攻撃につなぎ、終始・豊田合成のリズムで試合が進む。イゴールの攻撃に加え、近の速攻やブロックで一気に引き離しにかかり、逆転で豊田合成が勝利した。
豊田合成は、松本大会2連勝でファイナルラウンド進出へ望みをつないだ。

*本票の著作権は一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。
*Vリーグの公式データは公益財団法人日本バレーボール協会のJVISにより作成されています。